

# おばま 市議会だより

No. 149



- 9月定例会の概要..... P2
- 平成 27 年度決算認定 ..... P6
- 市政を問う！一般質問..... P8
- 議会報告会を開催します..... P11



# 9月定例会の概要

平成28年第3回定例会  
が8月26日から10月5日  
まで、41日間の会期で行  
われました。

今定例会では、各会計  
の補正予算や、その他議  
案等を慎重に審議しまし  
た。

また、閉会日には藤田  
善平議員の副議長辞職に  
よる副議長選挙が行わ  
れ、今井伸治議員が当選  
しました。これに伴い、  
各委員会の構成が変更さ  
れました。

## 指定管理

◆小浜市母と子の家児童養  
達支援センターの指定管  
理者の指定について  
賛成全員で可決

## 陳情

◆地方財政の充実・強化  
を求める意見書採択に  
ついて  
賛成全員で採択

## 人事案件

◆教育委員会委員の任命  
について

上田 俊彦氏(遠敷)  
山崎 まどか氏(山手)  
賛成全員で同意

◆教育委員会教育長の任  
命について  
森下 博氏(小浜今宮)  
賛成全員で同意

## 意見書

◆地方財政の充実・強化  
を求める意見書  
賛成全員で可決

## その他

◆小浜美郷小学校校舎お  
よび体育館新築工事請負  
契約の締結について  
賛成全員で可決

## 決議

◆議案第58号平成28年度  
小浜市一般会計補正予  
算(第3号)  
議案第60号平成28年  
度小浜市後期高齢者  
医療特別会計補正予  
算(第1号)および  
議案第61号平成28年  
度小浜市介護保険事  
業特別会計補正予算  
(第2号)に対する附  
帯決議について



### 【可決した平成28年度補正予算】

会計名	既決予算額	9月補正額	合計
一般会計	165億795万円	2億385万円	167億1,181万円
特別会計	95億2,360万円	3,912万円	95億6,272万円
企業会計	8億6,854万円	1,345万円	8億8,199万円
計	269億9万円	2億5,643万円	271億5,652万円

※端数処理の関係で合計額が一致しないことがあります

## 補正予算案に対し※附帯決議案可決!

平成28年度9月補正予算案には、来年4月からの市税などのコンビニ収納導入にかかる費用が計上されていました。確かに市民の皆さまの利便性が高まることなどが期待される事業であると考えています。

しかしながら、保育料、後期高齢者医療保険料、介護保険料の3会計3科目については、収納率の高さを考慮した結果、導入経費や維持費に対する費用対効果を再検討する必要があるのではないかと考えました。よって、これらの導入実施の是非を再考するよう、附帯決議案を可決しました。

※附帯決議とは：可決した案件についての議会の要望、意見等のこと。法的拘束力はない。

## 新副議長のご紹介



第56代  
小浜市議会 副議長  
今井 伸治 議員  
(63歳・湯岡)

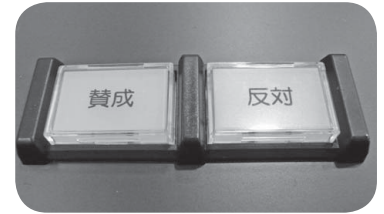
## 委員の交代

- 議会運営委員会 委員  
今井伸治議員↓西本清司議員
- 産業教育常任委員会 委員長  
今井伸治議員↓藤田靖人議員
- 広報委員会 委員長  
藤田靖人議員↓佐久間博議員

# 平成 28 年第 3 回定例会採決結果

## 賛成全員で可決、同意した議案等

項目	件名
予算	平成 28 年度小浜市一般会計補正予算（第 3 号）
	平成 28 年度小浜市国民健康保険事業特別会計補正予算（第 1 号）
	平成 28 年度小浜市後期高齢者医療特別会計補正予算（第 1 号）
	平成 28 年度小浜市介護保険事業特別会計補正予算（第 2 号）
	平成 28 年度小浜市簡易水道事業特別会計補正予算（第 1 号）
	平成 28 年度小浜市下水道事業特別会計補正予算（第 1 号）
	平成 28 年度小浜市農業集落排水事業特別会計補正予算（第 1 号）
	平成 28 年度小浜市漁業集落環境整備事業特別会計補正予算（第 1 号）
	平成 28 年度小浜市水道事業会計補正予算（第 1 号）
指定管理	小浜市母と子の家児童発達支援センターの指定管理者の指定について
陳情	地方財政の充実・強化を求める意見書採択について
意見書	地方財政の充実・強化を求める意見書
人事案件	教育委員会委員の任命について（山崎まどか氏）
認定	平成 27 年度小浜市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について
	平成 27 年度小浜市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について
	平成 27 年度小浜市簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について
	平成 27 年度小浜市下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について
	平成 27 年度小浜市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定について
	平成 27 年度小浜市漁業集落環境整備事業特別会計歳入歳出決算の認定について
	平成 27 年度小浜市加斗財産区運営事業特別会計歳入歳出決算の認定について
その他	小浜美郷小学校校舎新築（建築）工事請負契約の締結について
	小浜美郷小学校校舎新築（電気設備）工事請負契約の締結について
	小浜美郷小学校校舎新築（機械設備）工事請負契約の締結について
	小浜美郷小学校体育館新築（建築）工事請負契約の締結について
	小浜市民体育館耐震補強（建築）工事請負契約に関する変更契約の締結について
	平成 27 年度小浜市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について
決議	議案第 58 号平成 28 年度小浜市一般会計補正予算（第 3 号）、議案第 60 号平成 28 年度小浜市後期高齢者医療特別会計補正予算（第 1 号）および議案第 61 号平成 28 年度小浜市介護保険事業特別会計補正予算（第 2 号）に対する附帯決議について



【採決表示ボタン】

## ●ホームページをご覧ください

採決結果や次回定例会の日程、本会議の動画配信（本会議終了後約 2 週間程度で視聴できます）などさまざまな情報を掲載しています。



小浜市議会

## 賛否が分かれた議案等

全＝賛成全員（可決・採択） 多＝賛成多数（可決・採択） 否＝賛成少数（否決・不採択）  
 ○＝賛成 ×＝反対 欠＝出席せず 除＝除斥（規定により採決に加われない）  
 棄＝棄権（採決時に退席）  
 ※下中雅之議員は議長のため採決には加わっておりません。

項目	件名	採決結果	熊谷	竹本	牧岡	藤田	佐久間	西本	小澤	今井	能登	下中	三木	垣本	藤田	風呂	富永	清水	池尾	宮崎	賛成	反対	
			久恵	雅之	輝雄	靖人	博	清司	長純	伸治	恵子	雅之	尚	正直	善平	繁昭	芳夫	正信	正彦	治宇蔵			
陳情	政府に対して「熊本地震を受けて高浜 3 号機 4 号機の再審査を行うこと、1 号機 2 号機の運転延長の審査は慎重に行うこと」を求める意見書採択を求める陳情書	否	×	×	×	×	×	×	×	×	欠		×	×	×	×	×	×	×	○	1	15	
人事案件	教育委員会委員の任命について（上田俊彦氏）	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	除	16	0
	教育委員会教育長の任命について（森下博氏）	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	棄	16	0
認定	平成 27 年度小浜市一般会計歳入歳出決算の認定について	多	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	×	16	1
	平成 27 年度小浜市介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	多	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	×	16	1
	平成 27 年度小浜市水道事業会計決算の認定について	多	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	×	16	1

# 委員会審査

## 予算決算常任委員会 (9月補正)

### ◆北陸新幹線建設促進事業 補正予算額237万4000円

【説明】北陸新幹線敦賀以西ルートについて、平成28年内に決定されることが見込まれ、重要な局面を迎えていることから、広報看板やチラシの配布・国への要望等さらなる活動を展開するための補正。

【問】決起大会の実施はタイムリ  
ングが重要である。いつ、どのよ  
うな規模で開催を予定してい  
るのか。

【答】国の情勢をみながら10月か  
11月を考へており、文化会館  
において、嶺南各地域から約  
800人を集めて開催したい。

【問】小浜駅設置決定後の周辺  
整備等の計画が全く見えてこ  
ない。決定してから動くといっ  
よつな段階ではないと考へら  
れるが、見解は。

【答】建設促進同盟会では、まず  
第一にルートの決定を目的と  
している。今後の国への要望等  
については、新たな同盟会も必  
要になつてくるものと想定し  
ている。駅舎にどれだけかかる  
のか、市の負担がいくらかとい  
うのもこれからである。

【意見】あまりにも楽観的。

ルート・駅舎設置決定後の計  
画に早急に取り組みよう要望  
する。

### ◆コンビニ収納導入事業

【問】コンビニ収納導入するこ  
とにより、収納率向上どころ  
か、マイナスになってしまふこ  
とも考へられる。庁内で十分  
な議論はされたのか。

【答】数年前から税務課を中心に  
協議し、コンビニ収納に参加す  
る課を調整協議し、9会計12  
科目に絞り込んだ。費用対効  
果も検討する中で導入時期が  
遅れたが、遅かれ早かれ導入し  
なければならぬとの考へのも  
と、県内の状況も勘案して  
計上した。

【問】利便性は理解できるが、問  
題点はどう認識しているか。

【答】導入経費が高い。また、収納  
率が画期的に上がるものでは  
ない。

【問】初期導入経費等の見積も  
りの適正価格をどう判断する  
のか。

【答】契約については随意契約で、  
他の業者は参加できないが、予  
定価格を設定しての入札にな  
る。県内で情報交換も行つて  
いるので、他自治体の導入を参  
考にしながら見積もりを精査  
したい。

【問】導入に多額の税金を使う  
よりも、口座振替や納税組合  
の推進に力を入れていくべき

ではないか。

【答】あくまでも普通徴収の柱は  
口座振替と納税組合という位  
置付けは変わらない。先進地の  
ノウハウを導入しながら、确实  
に収納ができる口座振替を進  
めていきたい。

【問】収納率は上げなければい  
けないが、コンビニ収納の徴収経  
費がかかりすぎる。ランニング  
コストをカバーできなくても  
この事業を続けるのか。

【答】一度始めた事業となれば、  
サービスとして維持していく  
ことになる。収納率の向上に努  
めたい。

【問】収納科目が9会計にまた  
がり、他市町が導入していな  
い保育料や後期高齢者医療保  
険料など、普通徴収の件数が  
少ないものまで入っている。初  
期に導入すべき科目がどうか  
も含め、費用対効果を考へて  
十分検討したのか。

【答】平成28年度から介護保険  
料を始める市町が増える中  
で、庁内で十分に検討した結  
果、コンビニをよく使う世帯へ  
の対応として、保育料や後期  
高齢者医療保険料を加えた。

【問】全国的に導入実績も少な  
く、これから伸びるかもわか  
らない状況であり、もう少し  
様子を見ていいのではない  
か。

【答】他市町の導入状況は年々増  
えてきており、嶺南地域では、  
まだ導入していない美浜町、高  
浜町が平成29年度に導入する  
予定。小浜市は今が導入する  
いい機会と考へている。

【問】費用対効果が高いと考へ  
られるものを先行して導入  
し、残りの部分を段階的に導  
入してはどうか。

【答】段階的に導入するという発  
想はない。同時導入でなければ  
経費はかさむと考へられる。

【意見】利便性の向上などに  
ついては十分理解できるが、収  
納率が高く、対象件数が少な  
い保育料、介護保険料、後期高  
齢者医療保険料は利便性が優  
先され、費用対効果の議論が  
おろそかになっている。

【意見】一部の対象者に巨額な  
予算を投入することになり、  
公平性の観点から疑問が生じ  
る。

【意見】口座振替を推奨すべきで  
あり、導入は時期回早である。

※コンビニ収納導入事業につ  
いては、附帯決議案を可決しま  
した。(2ページに概要を掲載)

【問】プロポーザル形式で業者を  
選定し、検討委員会は地元と  
市等関係する代表者で構成す  
る。平成29年度から3年間の  
イメージで、期間中の整備計画  
を年次計画で立てて進めてい  
く。

【意見】プロポーザルはどのよ  
うにその地域が絡んでいくか  
が大切である。選定された業  
者には、提案して終わりでは  
なく、最後まで関わっていただ  
くことが必要である。また、観  
光施策事業に対し、会社を選  
定し委託することが仕事とな  
らないよう、職員が関わり、商  
工観光課の責任の下で事業を  
行うように。

【問】この10年間ほど道路修繕  
の予算が脆弱だった。その中  
でパンクやケガが頻繁になっ  
てきた。効率を考へた予算付  
けが大事ではないか。

【答】限られた予算の中で、放置  
するとすぐ危害が生じる箇  
所、そこから損傷が波及してい  
きそうな箇所を優先的に施工  
せざるを得ない状況である。高  
度経済成長期で作ったものが  
一気に寿命を迎えている時期  
であり、改良にあてる予算は抑

え、維持修繕にシフトさせてい  
る状況である。

【意見】事故を未然に防ぎ、市  
民に安心・安全を提供してい  
くため、もっと予算をかけてほ  
しい。

◆小学校管理諸経費 補正予  
算額 51万6000円

◆中学校管理諸経費 補正予  
算額 20万9000円

【問】ノロウイルスの検査方法は、

【答】若狭町の食中毒を受け、検  
査回数を今までの4回から6  
回にふやし、ノロウイルスの検  
査ランクも1つ上げて、PCR  
検査という遺伝子検査を追加  
した。今まで60〜70%の発見  
率だったものが、ほぼ100%  
発見できるようになる。

◆公民館施設維持補修費補正  
予算額 901万3000円

【問】西津公民館は建ててからか  
なり年数を経ているが、昨年  
と今年、事業費が計上されて  
いる。経費をかけて修繕した  
あとで建て替えにならないよ  
うな合意形成はできているの  
か。

【答】鉄筋コンクリート造りで耐  
用年数は60年程度ある。改修  
しながら使っていくということ  
で、建て替えは時期尚早と確  
認している。



◆教育旅行等推進プラン策定  
事業 補正予算額 300万円  
【問】アクションプログラムの検



## 総務民生常任委員会

## 産業教育常任委員会

算入率は70%である。

### ◆議案第71号 小浜美郷小学校校舎新築(機械設備)工事請負契約の締結について

① 機械設備工事の内容を問う。  
 ② 主な機械設備の金額の割合は空調設備が約4割、衛生設備が約6割である。

③ エアコンの設置状況は、普通教室にはすべて設置し、特別教室は学校の先生と協議し決定した。

④ 太陽光発電設備について。今後、国の補助金を見ながら検討する。

◆議案第73号 小浜市民体育館耐震補強(建築)工事請負契約に関する変更契約の締結について

① 変更内容の金額は、雨樋取替が約400万円、耐震補強金物が約200万円、天井吊金物が約400万円。アスベスト撤去が約400万円の減額となったため、約600万円の増額工事になる。

② 工事で体育館が良くなったというイメージになるのか。アリーナの天井を白く軽量なものに張り替え、蛍光灯もLEDに替え明るくなった。外壁の全面塗装、リフレッシュ工事、内装等の塗り替えにより見た目にも新しくなる。

## 各振興協議会開催報告

### 小浜市・おおい町総合振興協議会

日程 平成28年7月27日(水)

場所 小浜市  
 5月1日にオープンした旭座を視察し、舞台や観客席、楽屋などを見学しながら説明を受けました。また、北陸新幹線小浜・京都ルートおよび舞鶴若狭自動車道の4車線化について、福井県の担当課職員から現状と課題をお伺いし、各議員が見識を深めました。

### 小浜市・若狭町・高島市総合振興協議会

日程 平成28年7月29日(金)

場所 若狭町  
 若狭町で行われた会議では、役員選任、平成27年度事業報告および収支決算報告、平成28年度事業計画案および収支予算案が提出され、いずれも原案どおり承認されました。

### 小浜市・若狭町総合振興協議会

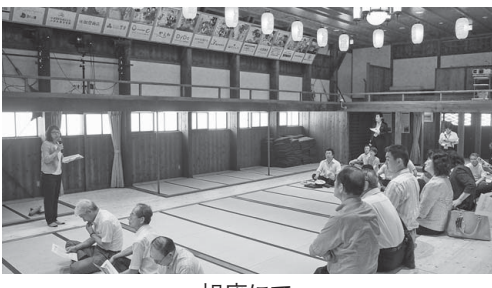
日程 平成28年8月3日(水)

場所 若狭町  
 若狭町で進められている「若狭瓜割エコビレッジ構想」「エコ住宅団地」等について若狭町職員から説明を受け、瓜割名水公園の木製水車や小水力発電施設等を見学しました。

◆議案第67号 小浜市母と子の家庭児童発達支援センターの指定管理者の指定について  
 ① 指定管理者に選定された業者の実績は、  
 ② 実績はないが、個々の発達障がい者支援の経験を有しているスタッフを配置する予定。  
 ③ 保護者はスタッフがかわることを心配しているが、スムーズな移行のための対策は、  
 ④ 指定管理者選定委員会に保護者代表も参加し、意見や要望を聞いている。半年間の引継ぎ期間に、業者から2〜3名来ていただくなど不安を払拭するよう努め、4月以降も連携をとっていきたい。

◆小浜美郷小学校新築に関する案件議案第69号、議案第72号  
 ① 各工事の予定価格と応札件数は、  
 ② 校舎新築(建築)工事：予定価格13億2798万円、応札1社  
 ③ 校舎新築(電気設備)工事：予定価格2億795万円、応札2社  
 ④ 校舎新築(機械設備)工事：予定価格2億5755万円、応札1社  
 ⑤ 体育館新築(建築)工事：予定価格4億7107万円、応札2社  
 ⑥ 小浜小学校の工事金額より、10億円ほど増加しているとのこと。

◆陳情第7号 地方財政の充実・強化を求める意見書採択について  
 (意見) 昨年も同じような趣旨の陳情を賛成全員で採択している。新たに追加された陳情項目も地方交付税に影響があることについて追加されつつも問題ないと思われる。



旭座にて



総会の様子



若狭瓜割エコビレッジ構想について伺う

# 平成 27 年度決算を認定

## 一般会計

歳入 173 億 7,152 万 5,602 円  
歳出 168 億 1,092 万 649 円

今定例会で、平成 27 年度の一般会計をはじめとする各会計の決算を認定するため、予算決算常任委員会に付託しました。さらに慎重に審査をするため、総務民生・産業教育それぞれの分科会に調査依頼し、質疑・討論を経て採決を行いました。

また、事業の進捗状況を確認するため、9月26日に小浜市内で管内視察を行いました。審査の結果は全会計とも認定することに決しました。

### 総務民生分科会

▼個人市民税 13億1523万8375円 法人市民税 2億5206万1300円

個人市民税、法人市民税ともに減少した要因は、

個人市民税は、景気が回復しない中、収入が減り納税者の数も減っている。法人市民税は、税率（法人税割）が下がったことによるもの。個人市民税が単独で下がることはなく、法人の経営状況等と関連性があると認識している。

▼職員給与費 4億9567万6700円

近年、正規職員・非正規職員共に応募が少ないが市の認識は、

本県は有効求人倍率が1.8倍を超え働き手が足りない。賃金も一因と考えられる。非常勤職員の勤務形態の見直しを図っていききたい。

平成15年度から正規職員を減らし、非常勤職員を増やしているが、職員総数は変わらず賃金格差が出ている。小浜市の今後の方針を問う。

正規職員が減った分を非常勤職員でカバーしたのではなく、新たな業務も増えている。

研修等で職員のスキルアップを図り適正な人員配置を検討していききたい。

▼嶺南鉄道整備促進基金負担金 8750万円

平成27年度末残高が80億7220万円で当初の目標額を超えている。今後の方向性を検討すべきでは。

建設費試算から年数が経ち、原簿特措法などの法律の適用もわからない部分があるため、積み立てを継続している。嶺南広域行政組合に構成6市町の意見を聞くよう要望している。

▼地域協働型まちづくりモデル事業 902万8000円

事業に参加していない6地区も含め、最終的には全地区の参加が必要では。

各地区と協議しており、来年度はいくつかの地区が参加してもらえそうな感触を得ている。2年後には全地区が移行できるよう協議を進めていききたい。

▼小浜市自主防災組織等活動支援事業 27万3000円

平成27年度に新結成された組織数は、防災訓練の支援をした件数は、

結成された自主防災組織は3区。防災に関する出前講座は13区で実施し、防災訓練の費用

補助は8件である。

復合災害には消防団だけで対応できないため、自主

防災組織の有無で差が出る。組織があっても機能していない地域への支援・指導ならびに未組織60区の組織づくりを全力で取り組んでほしい。

▼一時預かり事業 989万266円

市内と市外の方で料金に差がありすぎるのでは。

1時間あたりの料金を、市内の方は350円、市外の方は700円に設定している。市外の方は短期・限られた二部の利用であり、高いという認識は持っていない。

県外から複数のお子さんを連れて帰省するケースもある。検討・協議する中で柔軟な対応を願う。

近隣自治体に比べ保育料

が非常に高いことについて。

平成27年4月に市独自の保育料改定を行い、10%~15%の削減を行ったが、それでも近隣自治体と比べると高い。財政面や運営など複合的に検討していききたい。

▼子ども医療費助成事業 7313万607円

医療費の窓口無料化に関する認識について。

県も検討を進めているが、子どもの医療費の窓口負担を減らす自治体に対し、国は国民健康保険の国庫負担を減額している。試算では、未就学児だけでも年間1000万円程度市費を持ち出さなければならず、これがネックとなっている。

▼放課後児童健全育成事業 3091万2137円

3地区で放課後児童クラブが未設置だが、その理由は、

### 【決算審査の役割】

決算審査の重要な役割は、この審査が次年度の当初予算にいかん反映されるかということです。

審査での意見が、これから編成される平成29年度の当初予算にどのように活かされるかが期待されます。



☑ 希望者が5人以上であれば設置を検討することになる。国富・中名田・加斗地区は希望者が5人未満のため他の方法で対応している。

【意見】希望者を待つのではなく、保護者等に積極的な働きかけを願う。

▼生活保護扶助費 3億1955万2148円

☑ 生活保護扶助費の医療扶助の増が増えた要因は件数か、医療費か。

☑ 件数、医療費ともに増えている。医療を必要とする高齢者や、若年層でも働けないなど医療を必要とする方も多く、医療扶助が増えている。

▼寄附講座事業負担金 1072万7521円

☑ 寄附講座により1名の医師が確保できたが、それ以上の取り組みはできないのか。

☑ 金額は検証しなければならぬが、2名、3名と確保できる。よう今後も努力していきたい。

☑ 小浜病院の経営は非常に厳しい状況にあるが、担当課はどう認識しているのか。

☑ 医師不足もあるが、構造的な問題があり抜本的なテコ入れが必要。今年度は経営改革プランを作成するので積極的に

関与していきたい。

▼クリーンセンター施設管理経費 1億9257万4254円

☑ 新施設は母体組織の変更があったが、平成34年度の稼働は可能か。

☑ 来年度には組織が完成する予定で、順次交付金事業にも着手し、平成34年度中の稼働を目指している。

▼特定健康診査等事業 2447万4294円

☑ 特定健診の受診率が伸び悩んでいるが、認識は。

☑ 医療機関での健診受診者も算入することで受診率を上げていくしか方法がないと考えている。

【要望】受診勧奨の働きかけが弱いのでは。市民の健康増進、健全な国保会計の維持のためにも、意気込みを持って取り組んでほしい。

### 産業教育分科会

▼住宅使用料収入未済額 618万1280円および過年度住宅使用料収入未済額4267万7215円

☑ 滞納者に対しての対応、徴収方法は。

☑ 現在も市営住宅に住んでいる方は、滞納分から支払っても

らうように指導している。納付計画書を作成し、サインも受領し、督促状等も送付している。

☑ 行方不明や亡くなられたなど、現在市営住宅にいない方は、連帯保証人等との関係になり、滞納分を徴収するのは難しい。徴収方法については、職員が直接出向いている。

☑ 滞納者に対して退去要求をした事例があるのか。

☑ ここ数年は無いが以前は退去していただいた事例もある。

▼社会資本整備(住宅ストック) 2732万9400円

☑ 長寿命化計画の中で、現況と今後を問う。

☑ 平成27年度は生守団地2号棟の耐震補強工事の施工と、後瀬団地1号棟の耐震補強工事の設計を行った。後瀬団地の耐震補強工事は、やや大がかりな工事となる設計結果となったため、再検討が必要と考えている。基本的には後瀬団地耐震工事の後は、順次古い住宅に関して、入居者がいなくなったところで、建て替えを前提に計画を考えている。

▼インバウンド観光促進事業 765万1744円のうち委託料249万4084円

☑ 観光案内看板の外国語表記に間違いがあると聞か、確認しているのか。

☑ 校正などで確認もしているが、指摘を受けて修正した箇所もある。今後、発注の際には仕様書で内容を考慮していきたい。

▼四季菜館管理運営費 332万7098円のうち委託料210万9831円

☑ 委託料のうち、176万5851円が維持運営業務委託として(株)まちづくり小浜へ支払われているが、維持運営業務の内容は。

☑ 公民館などと同じように、施設の管理や清掃、軽微な修繕である。

▼ふれあいスクール事業 386万748円

☑ 効果および学校や家庭との連携について問う。

☑ 平成27年度は、中学1年生が2名、中学2年生が7名、3年生が1名、計10名。現在は中学2年生が1名、3年生が5名、計6名が通所している。平成27年度は4名が中学校へ復帰され、ふれあいスクール事業の効果が表れたものと考えている。復帰してまた戻ってくるというケースもゼロではないが、学校との連携、情報の交換を充分に行っており、保護者への要

望や意見に対しての支援も、この事業の中で対応している。

▼小学校スクールバス運行事業 1013万2950円

☑ 中学校スクールバス運行事業 115万6300円

☑ 小浜美郷小学校開校後も今後のあり方を問う。

☑ 現在は業者にて委託しているが、道路運送法の改正などで相

### 小浜市内で現地視察を実施

日時 平成28年9月26日(月)

平成27年度決算審査の締めくくりとして、市内7か所の管内視察を実施しました。現地で所管課から説明を受けながら各施設を視察し、予算執行、補助が適正に行われているかを確認しました。

- ・小浜ふるさと茶屋整備支援事業
- ・小浜美郷小学校造成事業
- ・小浜小学校太陽光発電
- ・市民体育館耐震補強工事
- ・小浜縦貫線拡幅工事
- ・地下水観測井
- ・若狭フィッシャーマンズ・ワーフ
- ・リノベーション：地域経済循環創造事業交付金



市民体育館



小浜美郷小学校建設現場

ついで。

〔答〕平成27年度は、広報おばま  
でPR記事を掲載するなど、  
利用者の増加に努めており、前  
年度に比べ約7.7%増加した。  
特に冬期間については、前年度

比約20%を超える利用者の増  
が見られた。利用料金は現在  
280円だが、高齢者には半  
額140円の支援も行ってお  
り、その他レディースデーも利  
用者に好評である。利用料金  
の見直しについては、県の施設  
であることから県の条例で上  
限が300円と決まっており、  
消費税の改正時期等に合わせ  
て考えていきたい。

▼文化振興事業 548万  
6778円のうち文芸振興  
事業補助金400万円

●補助先と事業内容は、

〔答〕補助先は文芸おばまであ  
る。事業内容は、ちりとして落語  
の会、音遊楽、若狭小浜海のシ  
ルクロード音楽祭の実行委員  
会、梅田雲浜顕彰全国吟詠大  
会の実行委員会、若狭小浜第  
九演奏会の実行委員会、それい  
け音楽会の実行委員会、第3  
回ダンスフェスティバル実行委  
員会、事務局費、一般芸能の予  
算である。

▼簡易水道事業、下水道

事業、農業集落排水事業、

漁業集落環境整備事業の  
各特別会計決算および水  
道事業会計決算について

〔問〕各事業の収入未済額につ  
いて、市の考えは、

〔答〕収入未済額は多く、以前か  
ら督促状や催告書は発送して  
いる。平成27年9月からはアウ  
トソーシングとして民間の会社  
が入り、頑張つて取り組んでい  
だいている。給水停止の予告通  
知は120件近く出しており、  
実際40件以上給水停止をした。  
このことから、上下水道合わせ  
て200万円以上の料金の収  
入実績がある。訪問集金活動は  
年間2500件以上、電話での  
督促は1300件近く行つてお  
り、少しでも収入未済額を減ら  
すよう取り組んでいる。

〔問〕未収の人数の推移は、

〔答〕上水道は、現年分では平  
成26年度が滞納者466人  
であったものが平成27年度は  
435人。過年度分では平成26  
年度の滞納者471人が平成  
27年度は446人となつてお  
り、前年度と比較すると若干  
減っている。

〔意見〕今後も収入未済額と  
未収件数の改善に努力して  
ほしい。

# 市政を問う！一般質問

(平成28年第3回9月小浜市議会定例会)

ページ	氏名	質問項目	ページ	氏名	質問項目
8	今井 伸治	1. 日本遺産について 2. 住みよさランキングについて 3. 小浜市の水産業について	10	宮崎治宇蔵	1. 小浜市のめざす健康づくりについて 2. 広域避難訓練について 3. 子供の医療費窓口無料化について 4. 非常勤職員の待遇改善について
9	風呂 繁昭	1. 財政について 2. 介護について 3. 西組重伝建について	10	熊谷 久恵	1. 防災の取り組みについて 2. 自然を活かした「研く」まちづくりについて
9	能登 恵子	1. 自治体の経営観点に財政ルールが必要では 2. フィックス・マイ・ストリートの活用			



今井 伸治  
議員

〔問〕日本遺産認定発信  
の方策は、

〔答〕全国的に知名度の  
高い鯖街道ブランドの  
「鯖」に焦点を絞りこ  
む。

近江今津駅から小浜  
駅までの鯖街道を走る  
西日本JRバスにラッ  
ピングを考えている。

鯖街道針畑越えのト  
レッキング(山歩き)や  
登山客が増加している  
ので、上根来区の古民  
家を休憩所として整備  
し、鯖街道の歴史展示  
や観光案内を行い、滋  
賀県側からの来訪者を  
市街地へ誘導する。

10月29日・30日に川  
崎地区で「鯖サミット  
in若狭おばま」を開  
催し、全国に発信する。  
今後は若狭町のみな  
らず、美浜町、高浜町、  
おおい町との広域連携  
によるブランド発信を

目指す。

## 日本遺産の情報発信とブランドの確立を

観光客の需要が高い  
「マサバ」を養殖し、サ  
ミットでお披露目する  
とともに、市内の飲食  
店でも提供する。



【提供：農林水産課】  
マサバの養殖の様子

まちの駅を「鯖のフラッ  
グショップ店舗」とし、大  
型活魚水槽を設置し  
て、泳いでいる鯖を見て  
もらい、目の前で水揚  
げしその場でさばいて  
刺身で提供し、視覚で  
も味覚でも楽しんでも  
らう。

若狭ものは関西を中  
心に評価・知名度とも  
高い。情報発信をさら  
に強化し、商品力を磨  
き販路を拡大し、誘客  
を促す協力的なツールと  
する。



# 一般質問

「北陸新幹線小浜、京都ルート」の早期実現により、民間投資も活発になり、地価の上昇率も期待される。

インバウンド誘客促進、将来のリピーターにつながる教育旅行の受け入れ、3駅構想の強化など回遊性を高める。また、元気な企業誘致のほか、若者の地元での就労支援や空家等を利用した創業支援、



風呂 繁昭  
議員

## 「経済の活性化」に力を注いでほしい。

伝統産業の後継者育成支援による定住促進。子ども医療費助成制度の拡充や保育料の軽減、子育て情報の二元化のほか、子育て支援センターを整備している。

武田家、京極家の守護館のあった旧小浜小学校跡地を今後どう保存、活用していくのか。地区の要望を取り入れどう整備していくのか。

平成18年から平成25年まで継続した発掘調査により、堀跡や守護館では建物跡を確認し、すずり、石臼、よろいの一部、古銭も出土し、空印寺の建物場所を合わせると、二乗谷朝倉氏館に匹敵する規模の館であったと推測される。この秋、観光シーズンに合わせ、貴重な史料、発掘品などを、小浜西組地区内で公開展示、解説するイベント等を計画している。



能登 恵子  
議員

## 「小浜市の財政情報に関心」が監視に

計処理は、小浜市ではしていない。それ以外の短期貸し付けは8件で約2億7千万円。予算編成にあたっては、関係法令を遵守する。

「フィックス・マイ・ストリート」の活用」

これは、道路整備のためのスマートフォンを使ったアプリの名前である。小浜市が管理する市道435kmは、老朽化も進み事故による訴訟も増えてきている。このアプリを使って、市民協働での道路管理をしようか。

メリットとしては、GPSによる位置情報、現場写真等の性格で多数の情報管理側が即時届く。デメリットとしては第三者へのプライバシー侵害となる可能性がある。

市長「市民協働」の市民と行政が関われる一つのツール、今後調査・研究したい。

「一夜貸し」や「単一口」などの不適切な会

## 議会を傍聴しませんか？

議会を傍聴する手続きは、5階の議会事務局で住所と氏名を書くだけです。

- |            |      |
|------------|------|
| 11月30日 (水) | 本会議  |
| 12月14日 (水) | 一般質問 |
| 12月15日 (木) | 一般質問 |
| 12月22日 (木) | 本会議  |

## 今月の表紙

旭座において、毎年9月に行われる放生祭の稽古披露とお囃子披露が催されました。旭座は連日満員で、3週間にわたり稽古を積み重ねてきた子供たちも、緊張の面持ちの中すばらしいお囃子や舞を披露しました。



宮崎治宇蔵 議員

問 安倍内閣は、昨年実施した介護保険改悪に続き、さらなる制度改悪を計画している。先に「財政ありき」で社会保障予算の自然増を削るやり方に、福祉や医療に関わっている人や団体から懸念の声が上がっている。そこで、2025年問題に向けて、医療・介護をとりまく現状認識とその課題について伺う。

答 今後、生涯にわたる健康づくりを推進していくためには、小浜市の保健・福祉の拠点施設として健康管理センターが果たす役割は大変重要で、乳幼児期から高齢期までのすべての年代において誰もが利用しやすく、機能性を重視した施設にしたいと考えている。

## 高齢者の負担重い介護保険の相次ぐ改悪

窓口無料化を実施していない県は福井県を含む8県。県と市町との検討状況を伺う。

答 国の制度改正（ペナルティー見直し）が行われた時には速やかに対応する。



現在の健康管理センター

問 県内避難計画では、約1万台の自家用車で国道27号を避難することになっているが、道路の寸断や家屋の倒壊による大渋滞が予想され、実効性を検証するにはほど遠いものではないか。

答 バス18台、普通車10台を使用した訓練を実施。渋滞の発生が予想される。

問 非常勤職員の待遇改善について。

答 人員配置や職種の見直し、待遇改善についても検討していく。



熊谷 久恵 議員

問 原子力災害、子ども避難行動や安定ヨウ素剤に関する課題など、事前に知識を得る機会について市の取り組みを伺う。

答 小中学校が定める原子力災害時避難計画に基づき災害時の対応を身に付けると共に、市も教材の貸し出し、学校やPTAなどへ出前講座をするなど、原子力防災の知識について周知を図っていく。

問 一般災害、避難行動要支援者の避難支援の取り組みを伺う。

答 避難行動要支援者名簿をもとに、誰が、どのように、どこかの避難所に避難をさせるかを記した避難支援個別計画の作成を進めている。第5次総合計画改定基本計画では平成32年度までに100%の作成を目指している。

## 子どもや女性目線の避難対策について

問 避難所運営について市の取り組みは。

答 職員初動マニュアルに基づき指定避難所に市職員を配置し開設。本年4月に長期化を想定した小浜市避難所運営マニュアルを策定。

問 避難所は子どもや女性に配慮した体制か。

答 でき得る限り女性職員を配置し、女性の視点を取り入れる。避難所運営マニュアルでは、子どもや女性、高齢者や障がい者など配慮を要する方の専用スペースを設けている。

問 避難情報の発信と避難行動について。

答 「避難勧告等の判断・伝達マニュアル」を改正し、夜間における避難を回避するため、早期の避難情報の発令や早期の避難所開設などの対策を行った。

問 津波避難、海抜表示板に避難所や高台の方向の表示が必要では。

答 津波等防災看板の設置について検討する。

## 可決した意見書 地方財政の充実・強化を求める意見書 概要

（前文省略）  
2017年度の政府予算、地方財政の検討にあたっては、国民生活を犠牲にする財政とするのではなく、歳入・歳出を的確に見積もり、人的サービスとしての社会保障予算の充実、地方財政の確立をめざすことが必要であり、次の事項の実現を求めます。

記

1. 社会保障、被災地復興・環境対策、地域交通対策、人口減対策など、増大する地方自治体の財政需要を的確に把握し、これに見合う地方一般財源総額の確保をはかること。
2. 子ども・子育て支援新制度、地域医療構想の策定、地域包括ケアシステム、生活困窮者自立支援、介護保険制度や国民健康保険制度の見直しなど、急増する社会保障ニーズへの対応と人材を確保するための社会保障予算の確保及び地方財政措置を的確に行うこと。
3. 地方交付税における「トップランナー」方式の導入は、地域によって人口規模・事業規模の差異、各自治体における検討経過や民間産業の展開度の違いを無視して経費を算定するものであり、廃止すること。
4. 復興交付金、震災復興特別交付税などの復興にかかる財源措置については、復興集中期間終了後の2016年度以降も継続すること。また、2015年度の国勢調査を踏まえた震災に伴う人口急減自治体の行財政運営に支障が生じることがないよう、地方交付税算定のあり方を引き続き検討すること。
5. 地域間の財源偏在性の是正のため、地方偏在性の小さい所得税消費税を対象に国税から地方税への税源移譲を行うなど、抜本的な解決策の協議を進めること。同時に、各種税制の廃止、減税を検討する際には、自治体財政に与える影響を十分検証したうえで、代替財源の確保をはじめ、財政運営に支障が生じることがないよう対応をはかること。
6. 地方財政計画に計上されている「歳出特別枠」および「まち心」として創生事業費については、自治体の財政運営に不可欠な財源となっていることから、現行水準を確保すること。また、これらの財源措置について、臨時・一時的な財源から恒久的財源へと転換をはかるため、社会保障・環境対策、地域交通対策など、経常的に必要な経費に振り替えること。
7. 地方交付税の財源保障機能・財政調整機能の強化をはかり、新たな財政需要の把握、小規模自治体に配慮した段階補正の強化などの対策を講じること。

以上、地方自治法第99条の規定に基づき、意見書を提出する。

平成28年6月15日

福井県小浜市議会



# 議会報告会 ～市民と語る会～

小浜市議会では、議員が4班に分かれ、市内全12地区の公民館で議会報告会を開催いたします。ご都合のつく会場に、お気軽にご参加ください！



**日時** 10月28日(金)

19時～21時

**場所** 西津公民館 (1班)  
中名田公民館 (2班)  
雲浜公民館 (3班)  
(交流ターミナルセンター)  
内外海公民館 (4班)  
(久須夜交流センター)

**日時** 11月1日(火)

19時～21時

**場所** 国富公民館 (1班)  
小浜公民館 (2班)  
(若狭ふれあいセンター)  
加斗公民館 (3班)  
今富公民館 (4班)

**日時** 11月10日(木)

19時～21時

**場所** 遠敷公民館 (1班)  
口名田公民館 (2班)  
松永公民館 (3班)  
宮川公民館 (4班)

## 内容

- ・定例会報告
- ・地区別テーマ
- ・その他 (意見交換)



## 班構成

### 1班

熊谷 久恵  
佐久間 博  
風呂 繁昭  
富永 芳夫

### 2班

竹本 雅之  
西本 清司  
能登 恵子  
垣本 正直  
清水 正信

### 3班

牧岡 輝雄  
小澤 長純  
下中 雅之  
藤田 善平  
池尾 正彦

### 4班

藤田 靖人  
今井 伸治  
三木 尚  
宮崎 治宇蔵

## 次第

- ①定例会報告 (小浜市議会の定例会について報告します)
- ②地区別テーマ (開催地区によってテーマが異なります)  
小 浜…旭座の運営について  
雲 浜…大手橋・西津橋の架け替えについて  
西 津…西津橋・大手橋架け替え工事で市道臨港線について  
内外海…若者の働く場の確保について  
国 富…農業振興策 (鳥獣害恒久柵のメンテナンス) について  
宮 川…保育園の統合・民営化について  
松 永…防災について (松永川の水害対策)  
遠 敷…北陸新幹線小浜・京都ルートについて  
今 富…防災について (南川を含めた水害対策)  
口名田…小浜市の防災に関する南川の河川改良について  
中名田…過疎対策について  
加 斗…下加斗地係工業団地進捗状況について
- ③意見交換 (市民の皆さまからのご意見やご質問をお聞きします)

【お問い合わせ先:小浜市議会事務局】

〒917-8585 小浜市大手町6-3 ☎64-6035

## 寄附行為の禁止事項

公職選挙法により、議員は選挙区内の人や団体に対しての寄附行為や金品の授受をすることが禁止されています。禁止されている例として以下のようなものがあります。

- 町内会・自治会の集会や旅行など催し物への差し入れ
  - お祭りへの寄附や差し入れ
  - 地域の行事や運動会への差し入れ
  - 病氣見舞い
  - 落成式や開店祝いの花輪、葬式の花輪、供花
  - 本人以外が代理で出席する場合の結婚祝いや葬式の香典
  - 出産、入学、卒業、就職等の祝い金や祝い物
  - お中元やお歳暮
  - 年賀状、暑中見舞い等の時候のあいさつ状 (答礼のための自筆を除く)
- また、政治家に寄附をするよう勧めることや、求めることも禁じられていますので、皆様のご理解をお願いいたします。

平成28年8月24日(水)に、北陸新幹線小浜・京都ルート早期実現特別委員会が松崎市長と合同で中央要望を行いました。

要望先は、石井啓一国土交通大臣のほか、敦賀以西検討委員会の漆原良夫副委員長、福井県選出国會議員などで、

- ①敦賀以西について小浜・京都ルートを年内に決定すること
- ②小浜駅を設置すること
- ③全線フル規格で整備すること

の3点を強く要望しました。

石井大臣からは、小浜駅の設置について、米原ルート以外なら小浜駅の設置を示唆する発言などがあり、意義ある要望活動となりました。

現在、国土交通省において、米原ルート、小浜・京都ルート、舞鶴経由ルートの調査が行われており、その結果を受けて、年内にはルートが決定する見通しです。

小浜・京都ルート実現に、引き続き、議員一同全力で取り組んでいきたいと考えています。



石井国土交通大臣への要望



助田衆議院議員



漆原敦賀以西検討委員会副委員長

### 編集後記

今定例会で広報委員長に就任しました、佐久間です。議会の情報を市民の皆さまに分かりやすくお伝えできるよう努力してまいります。ご意見などございましたら、ぜひお聞かせください。

さて、小浜市にとって明るいニュースがありました。小浜市の「谷田部ねぎ」が、国の「地理的表示保護制度※」に登録されました。現在、福井県内では、「谷田部ねぎ」、鯖江市「吉川ナス」、若狭町「山内かぶら」の3品目が登録されています。「食のまち小浜」を標榜している本市にとって、伝統野菜の登録は喜ばしい限りです。登録を受けて販路が広がり生産意欲が高まるとともに、次世代の農業者の育成に繋がっていくことを期待いたします。

地方創生は、その地に住む人が自分たちが役割を担っているという誇りを持ち、担い手不足などの課題を解消していくものです。行政とともに、議会も将来に向けた方向性を的確に見極め、市民が誇りと自信を持ち、住んで良し、訪れて良しの小浜市を構築してまいります。

広報委員長 佐久間

※地理的表示保護制度とは…地域で育まれた伝統と特性を有する農林水産物・食品のうち、品質等の特性が産地と結び付いており、その結び付きを特定できるような名称(地理的表示)が付されているものについて、その地理的表示を知的財産として国に登録することができる制度。